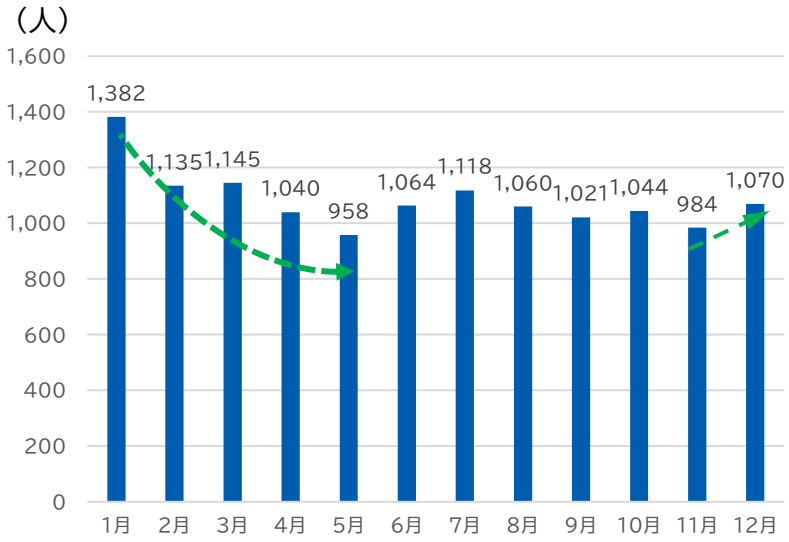
12月から増える労働災害

年末年始こそ安全確認の徹底を！

宮城労働局がまとめた過去5年間の月別労働災害発生状況によると、1月が最も多く、5月頃まで減少する傾向がみられます。12月になると再び増加し、続く1月の多発につながる傾向が確認されています。

宮城労働局　過去5年間月別労働災害発生状況（休業4日以上の死傷災害）



なぜ年末年始に災害が増えるのか

1. 路面や通路の凍結・積雪
2. 日照時間の短縮による視認性低下
3. 繁忙による業務量の増加
4. 慌ただしさによるルール逸脱
5. 疲労の蓄積や注意力の低下

「宮城年末年始労働災害防止強化運動」を展開します！

宮城労働局と各労働基準監督署では毎年12月1日から翌年1月31日までの期間「宮城年末年始労働災害防止強化運動を実施します。

主な実施事項

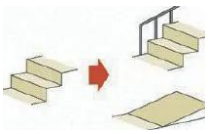
安全衛生活動の総点検



作業開始前の安全確認



転倒災害防止対策の確認



4S活動の実施（整理・整頓・清掃・清潔）



安全衛生パトロール



労働時間・健康管理の徹底



今すぐ実施したい「転倒災害防止」の3ポイント

1. 滑りやすい場所の見える化



2. 通路・作業場所の整理整頓



3. 防滑性能のある履物の着用



転倒災害は年間を通じて発生しています！



厚生労働省「職場のあんぜんサイト」リンク2次元コード

「転ばない職場づくり」を職場全体で進めましょう

労使一体となった安全衛生活動で、誰もが安心して働ける職場をつくりましょう！

厚生労働省
宮城労働局

宮城 年末年始労働災害防止強化運動

令和８年12月１日（火）
～令和９年１月31日（日）

働く人の
安全が
宮城の未来を
つくる

年末年始こそ 安全確認の徹底を！

冬の転倒災害を防ぎましょう

その一歩が、
今日も明日も
安全につながる

～ 多くの転倒災害には、共通する原因があります ～

年末年始は、日没時間の早まり、積雪や凍結による作業環境の悪化、
業務の繁忙期などにより、転倒災害をはじめとした労働災害の発生リスクが高まります。
転倒災害は、建設業や製造業だけでなく、小売業、医療・介護、運輸業、サービス業、
事務職場など、あらゆる業種で発生しています。

転倒災害は特別な事故ではありません

今すぐ実践！ 転倒災害防止 6つのポイント

1 急がない



「急いでいた」は
多くの転倒災害に
共通する要因です。
時間に余裕を持って
行動しましょう。

2 歩幅を小さくする



雪道や凍結路面では
小さな歩幅で
ゆっくり歩くことが
転倒防止に
つながります。

3 足裏全体で着地する



かかとから強く
踏み出さず、
足裏全体を路面に
つけるように
歩きましょう。

4 ポケットに手を入れない



転倒した際に
受け身が取れず、
骨折や頭部受傷に
つながる危険が
あります。

5 両手を空ける



荷物はリュックや
台車を活用し、
バランスを
保ちやすく
しましょう。

6 危険箇所を意識する

特に注意が必要です。



- マンホール
- 金属製の蓋
- タイル床
- スロープ
- 日陰の凍結箇所

事業場でチェック！ 転倒災害防止チェックリスト

- ☐ 出入口や通路の除雪はできていますか
- ☐ 凍結しやすい場所を把握していますか
- ☐ 十分な照明を確保していますか
- ☐ 通路に障害物はありませんか
- ☐ 朝礼などで注意喚起していますか
- ☐ 危険箇所を職場内で共有していますか



「気を付けて」より「転びにくい環境づくり」

- ✓ 危険箇所の見える化
- ✓ こまめな除雪・融雪
- ✓ 4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）
- ✓ 職場内の声掛けと情報共有



急がず。焦らず。まず足元。

働く人の「安心」が
宮城の力に

宮城労働局・各労働基準監督署

Safework ゼロ災 MIYAGI